



2023年12月期 決算説明会資料

2024年2月14日

ローランド株式会社



今回発表のポイント

● 2023年12月期 通期業績

- 売上、営業利益ともに前期比**増収・増益、過去最高**
- 事業環境は想定からの大きな変化があったが、迅速な対応を実行
- 製品在庫削減も順調に進捗、**フリーキャッシュフローも過去最高**

● 中期経営計画進捗

- 前提の変化により、最終年度数値目標達成時期は後ろ倒し
- 一方施策は**順調に進捗**

● 2024年12月期 通期見通し

- 為替影響を除き**概ね前期並み**を計画
- コロナ対応による非常時フェーズから**正常化への移行期間**と位置づけ
- 2025年12月期からの**再成長に向けた中計投資を着実に実行**

● 株主還元

- 2023年度期末配当は**期初予想を維持**（一株あたり85円）
- 2024年度も**同額の配当を予想**（一株あたり、第2四半期末85円、期末85円）

1 2023年12月期 通期業績概要

2 中期経営計画（FY2023-2025）進捗

3 2024年12月期 通期業績見通し

4 株主還元

5 補足資料

1

2023年12月期 通期業績概要

2

中期経営計画（FY2023-2025）進捗

3

2024年12月期 通期業績見通し

4

株主還元

5

補足資料

決算のポイント

売上高

1,024億円
(前期比: **+6.9%**)

- Dealerの在庫調整および、電子ピアノの需要低下、中国の苦戦がセルインに影響
- 為替影響、Drum Workshop社（DW社）の新規連結効果もあり増収

営業利益

118億円
(前期比: **+10.4%**)

- セルインの状況に応じた、**販管費の適切なコントロール**
- 海上輸送費減少などの**ポジティブ効果により増益**

当期純利益¹

81億円
(前期比: **-8.8%**)

- **大きな特別損益無し**
前期は、子会社清算益、繰延税金資産の計上による影響あり（一過性要因）

¹ 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

連結業績

- のれん償却前の営業利益率は11.9%

(単位: 百万円)	2022年12月期 ¹		2023年12月期 ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	95,840	100.0%	102,445	100.0%	+6.9%
売上総利益	39,356	41.1%	43,932	42.9%	+11.6%
販管費	28,605	29.8%	32,060	31.3%	+12.1%
営業利益	10,751	11.2%	11,871	11.6%	+10.4%
(のれん償却前)	10,845	11.3%	12,230	11.9%	+12.8%
当期純利益 ³	8,938	9.3%	8,151	8.0%	-8.8%

1 2022年12月期の為替レート 米ドル/円：131.44、ユーロ/円：138.10、ユーロ/米ドル：1.051

2 2023年12月期の為替レート 米ドル/円：140.57、ユーロ/円：152.05、ユーロ/米ドル：1.082

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

連結業績（ご参考：2023年実績よりDW社の新規連結影響を除外）

- 新規連結影響を除く営業利益率は13.2%

(単位: 百万円)	2022年12月期 ¹		2023年12月期 ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	95,840	100.0%	95,684	100.0%	-0.2%
売上総利益	39,356	41.1%	41,982	43.9%	+6.7%
販管費	28,605	29.8%	29,350	30.7%	+2.6%
営業利益	10,751	11.2%	12,631	13.2%	+17.5%
当期純利益 ³	8,938	9.3%	8,855	9.3%	-0.9%

1 2022年12月期の為替レート 米ドル/円：131.44、ユーロ/円：138.10、ユーロ/米ドル：1.051

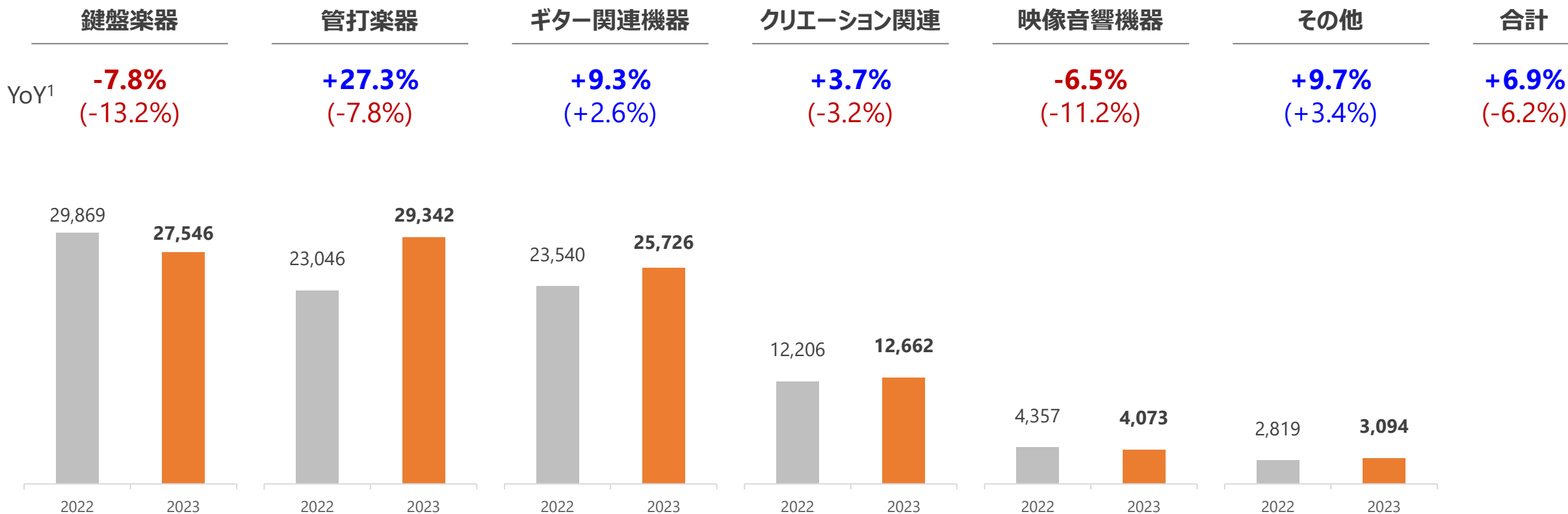
2 2023年12月期の為替レート 米ドル/円：140.57、ユーロ/円：152.05、ユーロ/米ドル：1.082

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

製品別売上高（Q4累計）

- コロナ需要の落ち着き、価格競合、Dealer在庫調整により鍵盤楽器が世界的に苦戦
- 管打楽器は中国市場の停滞影響が継続しているが、全体としてはDW社買収効果で増収
- 映像音響機器は低価格配信機材、V-MODAブランドヘッドフォン等が苦戦
- ギター関連機器は、受注残の出荷や新製品効果もあり堅調に推移

単位：百万円



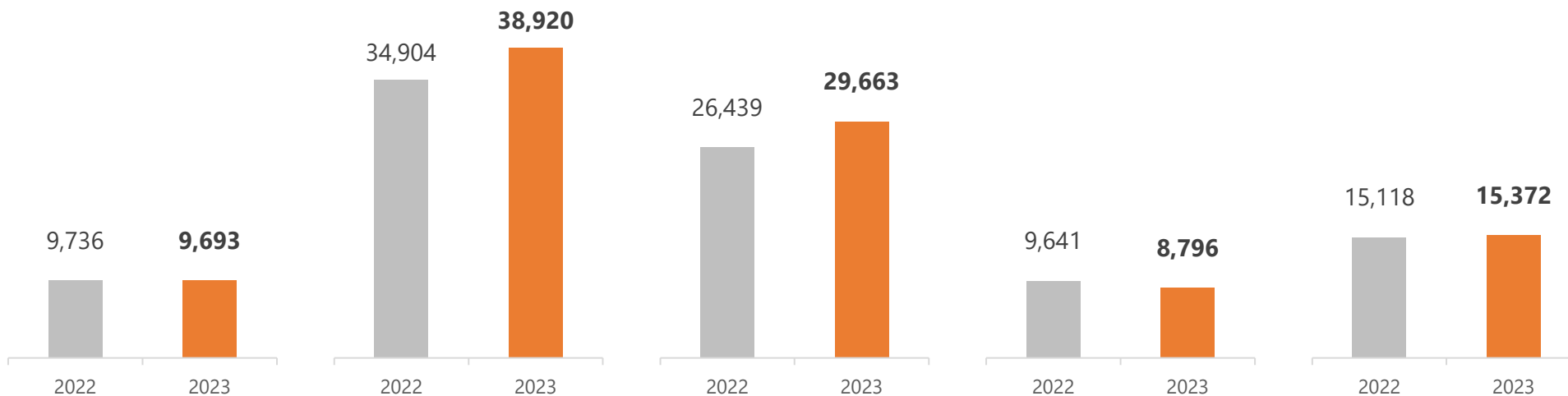
1 カッコ内は、為替影響およびDW社の新規連結影響を除外した比較

地域別売上高（Q4累計）

- 北米市場はDealer在庫調整影響によりセルイン苦戦。一方でセルスルーは前期並みを確保
- 中国市場は回復に遅れ。双減政策も影響
- その他地域は2極化（新興国◎、先進国×）

単位：百万円

	日本	北米	欧州	中国	その他	合計
YoY ¹	-0.4% (-1.4%)	+11.5% (-8.5%)	+12.2% (+0.0%)	-8.8% (-11.9%)	+1.7% (-11.1%)	+6.9% (-6.2%)



1 カッコ内は、為替影響およびDW社の新規連結影響を除外した比較

連結営業利益

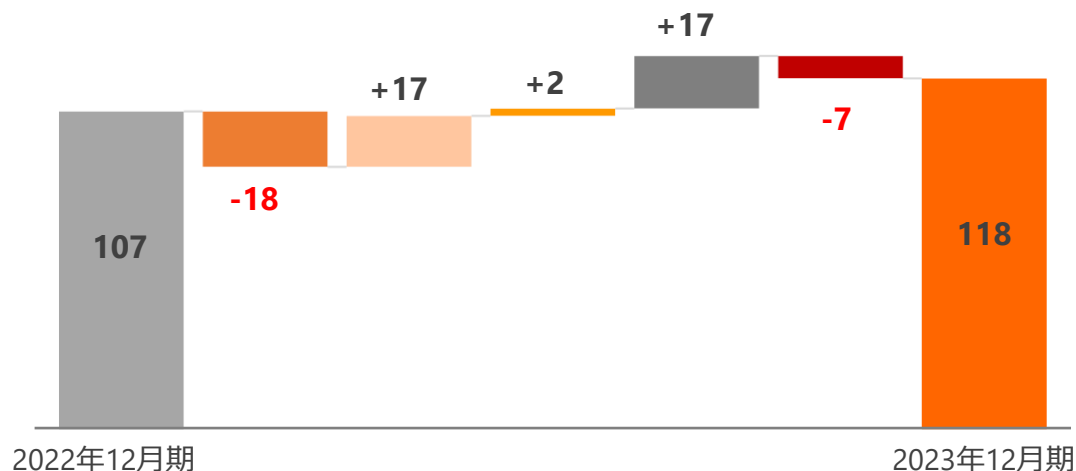
増減 (対前期比)

主な要因

(億円)

- 販売数量変化
- 売価/原価変動
- 販管費増減
- 為替影響
- DW社新規連結影響 (Q1-Q3)

- **販売数量変化**
 - ✓ Dealer在庫の調整によるセルイン減少
 - ✓ 電子ピアノ、中国の需要低下
- **売価/原価変動**
 - ✓ 原材料価格高止まり (-)
 - ✓ 当社在庫適正化の推進 (-)
 - ✓ 海上輸送費の減少 (+)
- **販管費増減**
 - ✓ 規律あるコストマネジメント
- **DW社新規連結影響**
 - ✓ 新製品 (開発・マーケティング) 費用等の先行投資



1 2023年12月期 通期業績概要

2 中期経営計画（FY2023-2025）進捗

3 2024年12月期 通期業績見通し

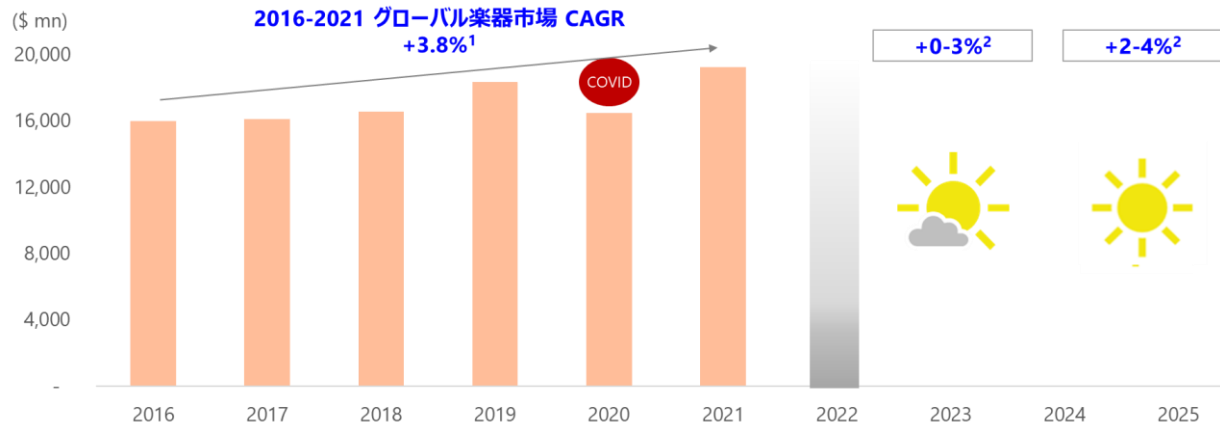
4 株主還元

5 補足資料

事業環境認識

計画立案時（FY2022）

- コロナ混乱を経て、巡航速度の成長へ回帰と想定



¹ Music Trade Magazineより
² 当社試算

現在

- FY2022-2024は、コロナによる混乱から正常化への調整期
世界楽器市場はマイナス成長
 - コロナで崩れた需給バランスの調整
 - 電子ピアノを中心にコロナ需要からの一時的な反動減
 - 中国の回復遅れ
- FY2025以降は**通常の成長軌道へ回帰**

1. 前提の変化により、中計最終年度の数値目標達成は後ろ倒し
2. 一方、環境変化は一時的。楽器業界の長期的な成長モメンタムに変化はない

一時的な事業環境変化への対応

● 影響を最小化し、コロナ禍を通過

	当社への影響	対応	
FY2023	<ul style="list-style-type: none">● 販売数量の減少● 投資効率の悪化	<ul style="list-style-type: none">● 当期利益額最大化に向けたイレギュラー対応	増益確保
FY2024		<ul style="list-style-type: none">● 回復期を見据えた投資とオペレーション正常化	概ねFlat
FY2025以降	事業環境回復の波にいち早く乗り、売上・利益ともに通常の成長軌道（業界成長+ α ）へ回帰 <ul style="list-style-type: none">● 相対優位なPositioning（成長力の高い電子楽器・海外販売が中心）● 独自の強み（Game Changer製品での需要創造、Roland CloudでのLTV¹向上）		再成長フェーズ

中計の基本戦略

基本戦略に変更なし。FY2025からの再成長に向け、施策を着実に実行

1. 需要創造

Game Changerによる市場創造と潜在顧客へのアプローチ

2. シェア拡大

ポータブル・キーボード市場への再参入と新興国での販売拡大
Roland Retailによるシェア拡大

3. LTV¹向上

音楽を生涯楽しんでいただくための仕組みづくり

4. 基盤強化

長期ビジョン実現に向けた人的資源活性化とインフラ投資

中計の進捗

1. 需要創造



- 開発、ローンチは順調に進捗
- 2024年以降、さらに新製品の貢献が高まる見込み

新製品販売比率¹

2022	2023	2025 Target
約18%	約 18%	25%+

- 世界初Convertible Drums発売
- Gaming市場へ参入
- Portable Keyboard市場再参入

2023年発売の主な新製品



Convertible Drums 『DWe』



Guitar Amp 『KATANA』 Series



Gaming Audio Mixer 『BRIDGE CAST』



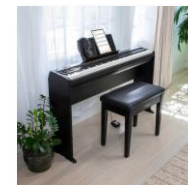
4K対応 AV Mixer 『VR-400UHD』



Guitar Synthesizer 『GM-800』



Digital Grand Piano 『GP-9M』



販路限定 Digital Piano



『SP-404MKII Stones Throw Limited Edition』



Portable Keyboard 『EX-10』



Synthesizer 『GAIA-2』



Wi-Fi Connection



Guitar Effector 『ME-90』

¹ 総売上高における、発売12か月未満の製品の販売比率

中計の進捗

2. シェア拡大



- 全体戦略は順調に進捗
- 中国市場は回復に遅れ

ポータブルキーボード再参入

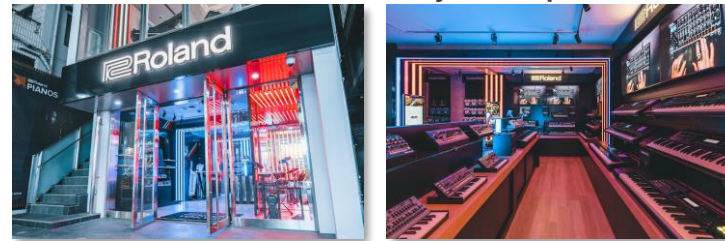
- 足がかりとして低価格キーボード投入
- **計画を上回る**好調なセールスを記録



Roland Retail販売²比率

2022	2023	2025 Target
10.4%	12.8%	20%

- 『Roland Store Tokyo』 Open



- 『Store in Store³』の拡大

+4店

- インドネシア
- チェコ
- アメリカ
- デンマーク

新興国販売状況

中国



YoY¹ **-11.9%**

インド



YoY¹ **+22.9%**

インドネシア



YoY¹ **+36.1%**

中南米



YoY¹ **+5.3%**

1 為替影響およびDW社の新規連結影響を除外した比較

2 直営店、Store in Store、直販Web、Online 3rd Party Platform等での販売

3 楽器店内に設置されたローランド専用コーナー

中計の進捗

3. LTV¹向上



- Cloud-Ready製品は順調に拡大
- 2024年以降、製品、サービス、コンテンツの投入を更に加速

Cloud-Ready製品²比率拡大

2016	2023	2025 Target
0%	約35%	50%+

- サービス開始以降、Cloud Serviceを活用できる製品が着実に増加

顧客との関係強化

	2022	2023	2025 Target
Roland Account	2.3M	2.7M	3.4M
R. Cloud User³	0.8M	1.2M	2.0M
Paid User⁴	88K	115K	200K
Subscriber	24K	28K	50K

Contents & Services拡大



Virtual Drum Instruments
『DW Soundworks』



Subscription Service
『BGM CAST』



『FANTOM-EX Upgrade』



『Roland Cloud Manager』



Super Instruments
『GALAXIAS』



Additional
Sound Contents

1 ライフタイムバリュー
2 Roland Cloudが提供する、何らかのサービスを使用できる製品
3 Roland Cloudのサービス利用者の累計数
4 各年度末でのサブスクリプション登録者数+年度内の単品購入者数

中計の進捗

4. 基盤強化



- エンゲージメントスコアは上昇
- 新本社、各システムへの投資を決定、順調に進捗

従業員エンゲージメント

基幹システム更新

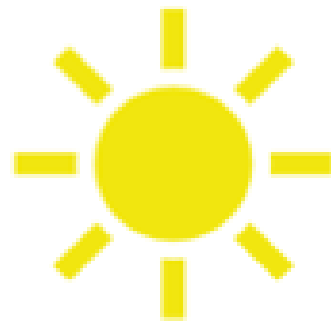
SCP²システム導入

新本社建設

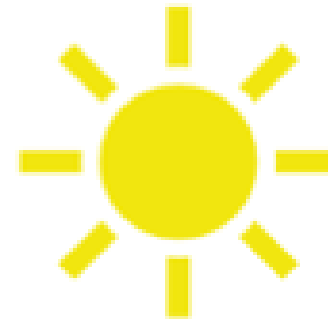
エンゲージメント指数推移¹

2022	2023	2025 Target
100	101.4	104.1

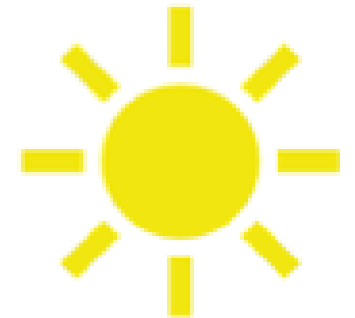
2024年下期
稼働予定



2024年 下期
稼働予定



2025年
完成予定



¹ 2022年を100とした場合の変化 (ギャラップ社のエンゲージメント調査を使用)

² Supply Chain Planning

1 2023年12月期 通期業績概要

2 中期経営計画（FY2023-2025）進捗

3 2024年12月期 通期業績見通し

4 株主還元

5 補足資料

業績見通しのポイント

売上高

999億円

(対前期比 **-2.5%**)

- コロナ需要の反動減（主に電子ピアノ）を他のカテゴリでカバー
- 主要地域はおおむね横ばい、新興国は伸長
- **為替影響を除き前期並(+0.5%)**を計画

営業利益

114億円

(対前期比 **-4.0%**)

- FY2025からの再成長に向けて、中計投資を着実に実行
- **為替影響を除き前期並(+3.3%)**を計画

当期純利益¹

85億円

(対前期比 **+4.3%**)

- 大きな特別損益の発生見込み無し

¹ 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

連結業績

- 売上総利益率は1.7pt改善

(単位: 百万円)	2023年12月期 ¹		2024年12月期 ²		
	実績	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	102,445	100.0%	99,900	100.0%	-2.5%
売上総利益	43,932	42.9%	44,600	44.6%	+1.5%
販管費	32,060	31.3%	33,200	33.2%	+3.6%
営業利益	11,871	11.6%	11,400	11.4%	-4.0%
当期純利益 ³	8,151	8.0%	8,500	8.5%	+4.3%
EBITDA	14,628	14.3%	14,340	14.4%	-2.0%

1 2023年12月期の為替レート 米ドル/円：140.57、ユーロ/円：152.05、ユーロ/米ドル：1.082

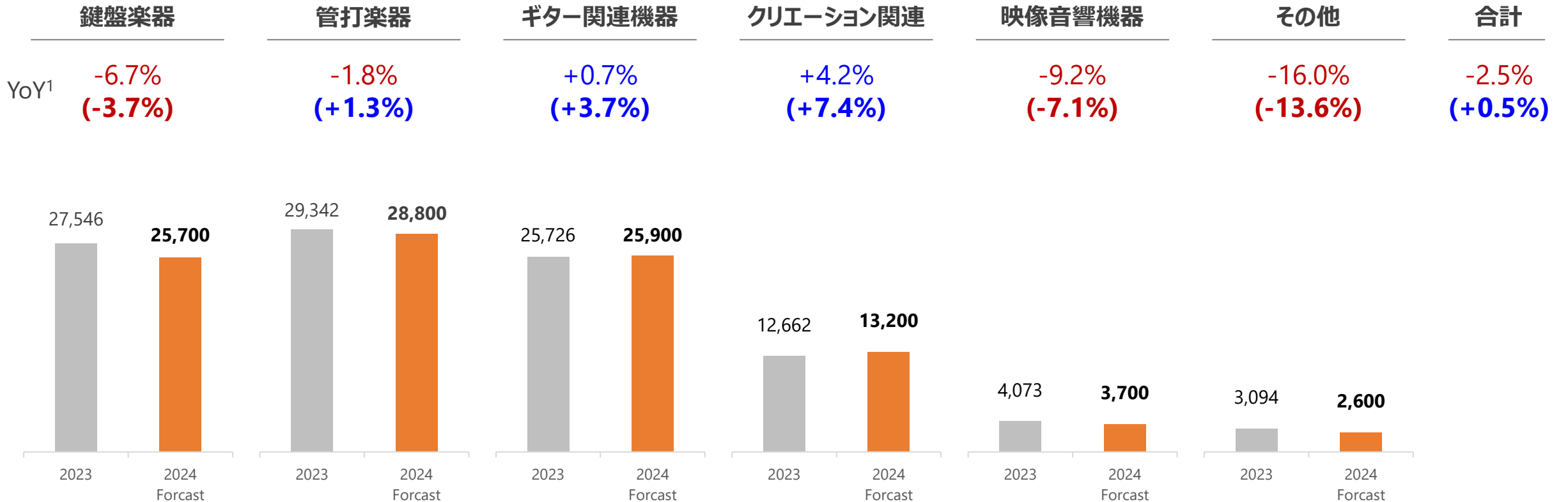
2 2024年12月期の為替レート 米ドル/円：137.00、ユーロ/円：147.00、ユーロ/米ドル：1.073

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

製品別売上高

- 鍵盤楽器、映像音響機器は、コロナ需要からの反動減や競合激化の影響が一定程度継続
- 管打楽器は、電子管楽器は低調も、打楽器ではDW社の増収効果を見込む
- ギター関連機器、クリエイション関連機器は新製品効果を想定

単位：百万円

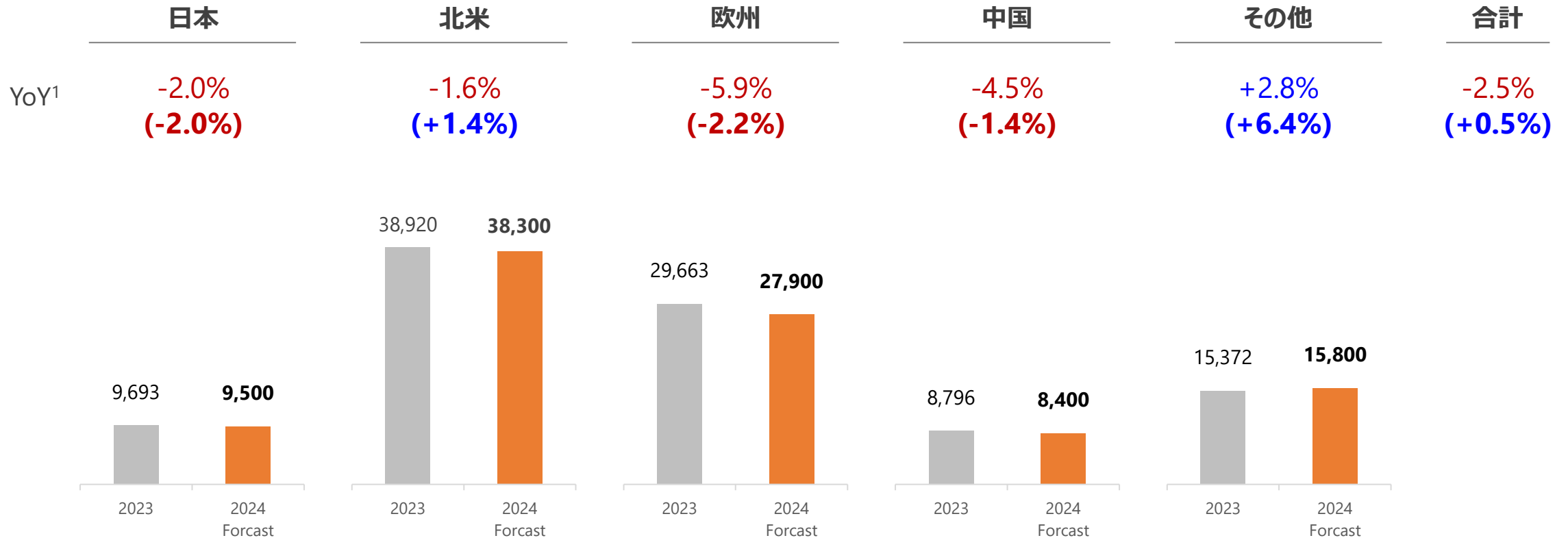


1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

地域別売上高

- 為替影響を除き、主要地域は概ね横ばい
- その他地域では、インド、インドネシア、中南米等が好調を継続

単位：百万円



1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

上期下期別見通し

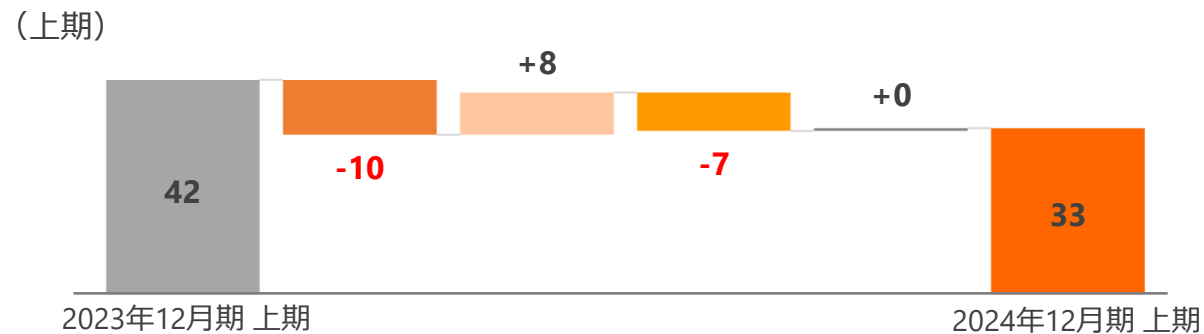
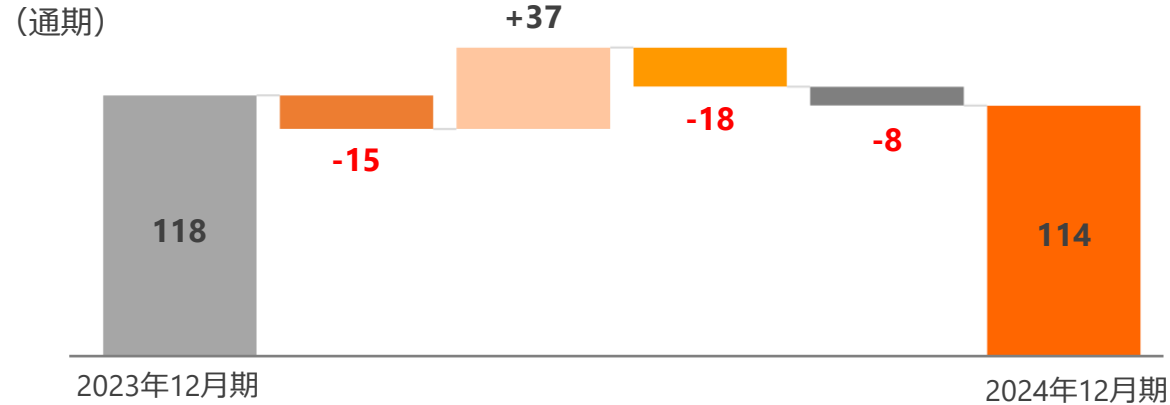
(上期・下期のPL詳細は補足資料を参照)

- Q1は前期Q4の積極的な在庫処分販売の反動や、価格戦略正常化による数量減を想定
(前期比10%前後の減収 = **大幅な減益**)
- 下期以降、新製品投入効果、マージン改善効果により**増益へ転換**見込み

	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	451億 ・前期比：-2.2% (-3.0%)	548億 ・前期比：-2.7% (+3.4%)	999億 ・前期比：-2.5% (+0.5%)
営業利益	33億 ・前期比：-22.5% (-23.9%)	81億 ・前期比：+6.4% (+18.5%)	114億 ・前期比：-4.0% (+3.3%)

連結営業利益予想

増減 (対前期比)



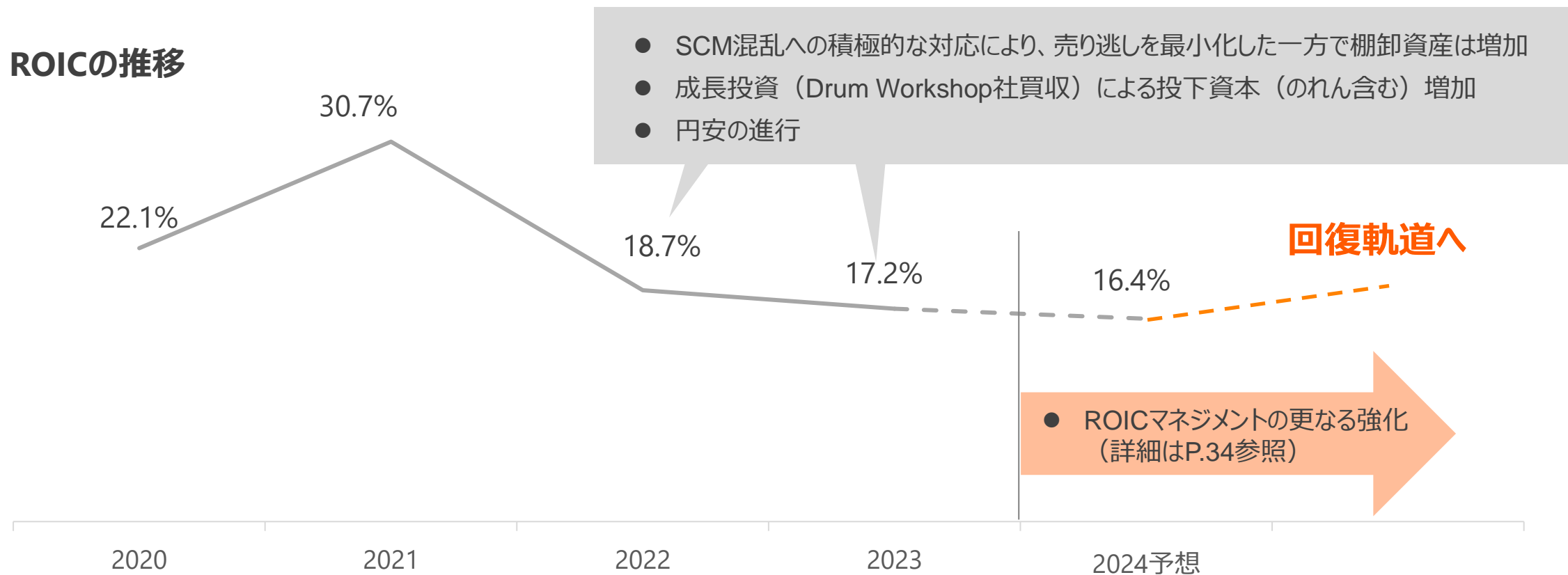
主な要因

- **販売数量変化**
 - ✓ Dealerの在庫調整
 - ✓ 当社販売戦略の正常化
- **売価/原価変動**
 - ✓ 販売戦略正常化、新製品効果等による粗利改善
 - ✓ 輸送効率改善
 - ✓ DW社とのPMI進捗による利益率改善
- **販管費増減**
 - ✓ 研究開発費投資 (Chip開発、人材投資等)

資本収益性改善への取り組み

- 高い資本効率性を維持しているものの、近年の危機対応や成長投資によりROICは低下傾向
- ROICマネジメントの更なる強化により改善に取り組む

ROICの推移



ROIC = NOPAT（税引後営業利益） ÷ 投下資本（運転資本+固定資産、期首期末平均）
WACC = 6~8%程度

1 2023年12月期 通期業績概要

2 中期経営計画（FY2023-2025）進捗

3 2024年12月期 通期業績見通し

4 株主還元

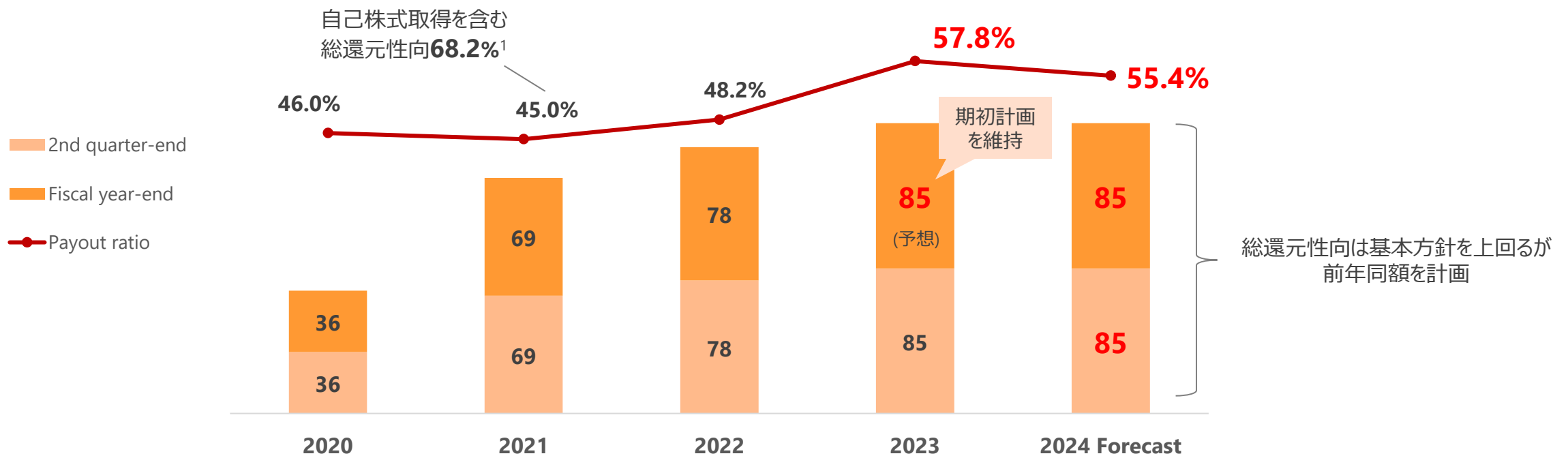
5 補足資料

2024年は、2023年と同額の配当を見込む

〈基本方針〉

持続的かつ安定的な配当を行うとともに、株式市場動向や資本効率等を考慮した機動的な自己株式の取得も適宜行うことで、連結総還元性向は**原則50%**を目指し、成長投資資金の留保が必要な場合も、連結総還元性向は30%以上を目指す。

株主還元の推移



¹ 2022年2月14日～2022年6月23日の期間にて実施した自己株式取得(20億円)を含む総還元性向

1 2023年12月期 通期業績概要

2 中期経営計画（FY2023-2025）進捗

3 2024年12月期 通期業績見通し

4 株主還元

5 補足資料

上期連結業績予想

(単位: 百万円)	2023年12月期 上期 ¹		2024年12月期 上期 ²		
	実績	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	46,096	100.0%	45,100	100.0%	-2.2%
売上総利益	19,772	42.9%	19,700	43.7%	-0.4%
販管費	15,516	33.7%	16,400	36.4%	+5.7%
営業利益	4,256	9.2%	3,300	7.3%	-22.5%
四半期純利益 ³	3,195	6.9%	2,500	5.5%	-21.8%

1 2023年12月期上期の為替レート 米ドル/円：134.87、ユーロ/円：145.84、ユーロ/米ドル：1.081

2 2024年12月期上期の為替レート 米ドル/円：137.00、ユーロ/円：147.00、ユーロ/米ドル：1.073

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

下期連結業績予想

(単位: 百万円)	2023年12月期 下期 ¹		2024年12月期 下期 ²		
	実績	売上比	計画	売上比	前期比
売上高	56,349	100.0%	54,800	100.0%	-2.7%
売上総利益	24,159	42.9%	24,900	45.4%	+3.1%
販管費	16,544	29.4%	16,800	30.7%	+1.5%
営業利益	7,615	13.5%	8,100	14.8%	+6.4%
四半期純利益 ³	4,956	8.8%	6,000	10.9%	+21.1%

1 2023年12月期下期の為替レート 米ドル/円：146.27、ユーロ/円：158.26、ユーロ/米ドル：1.082

2 2024年12月期下期の為替レート 米ドル/円：137.00、ユーロ/円：147.00、ユーロ/米ドル：1.073

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応① 現状認識

いずれの指標も東証プライム上場企業平均¹を大きく上回る高い水準（2023年12月期）

ROE	ROIC	PBR
22.2%	17.2%	3.04x

電子楽器ビジネス

大きな投下資本不要。高い効率性

×

徹底した見える化

迅速な経営判断と危機対応力

ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本（期首期末平均）

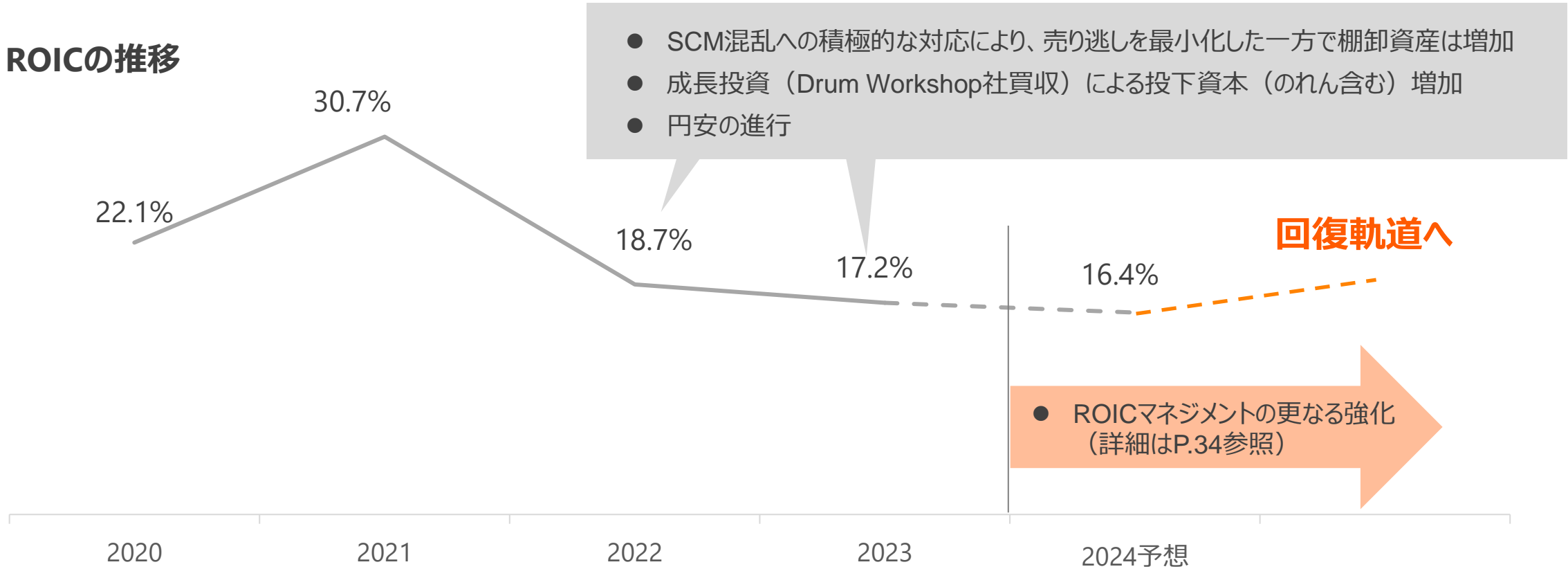
ROIC = NOPAT（税引後営業利益） ÷ 投下資本（運転資本+固定資産、期首期末平均）

PBR = 期末株価 ÷ 一株当たり純資産

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応② 課題と取り組み

- 高い資本効率性を維持しているものの、近年の危機対応や成長投資によりROICは低下傾向
- ROICマネジメントの更なる強化により改善に取り組む

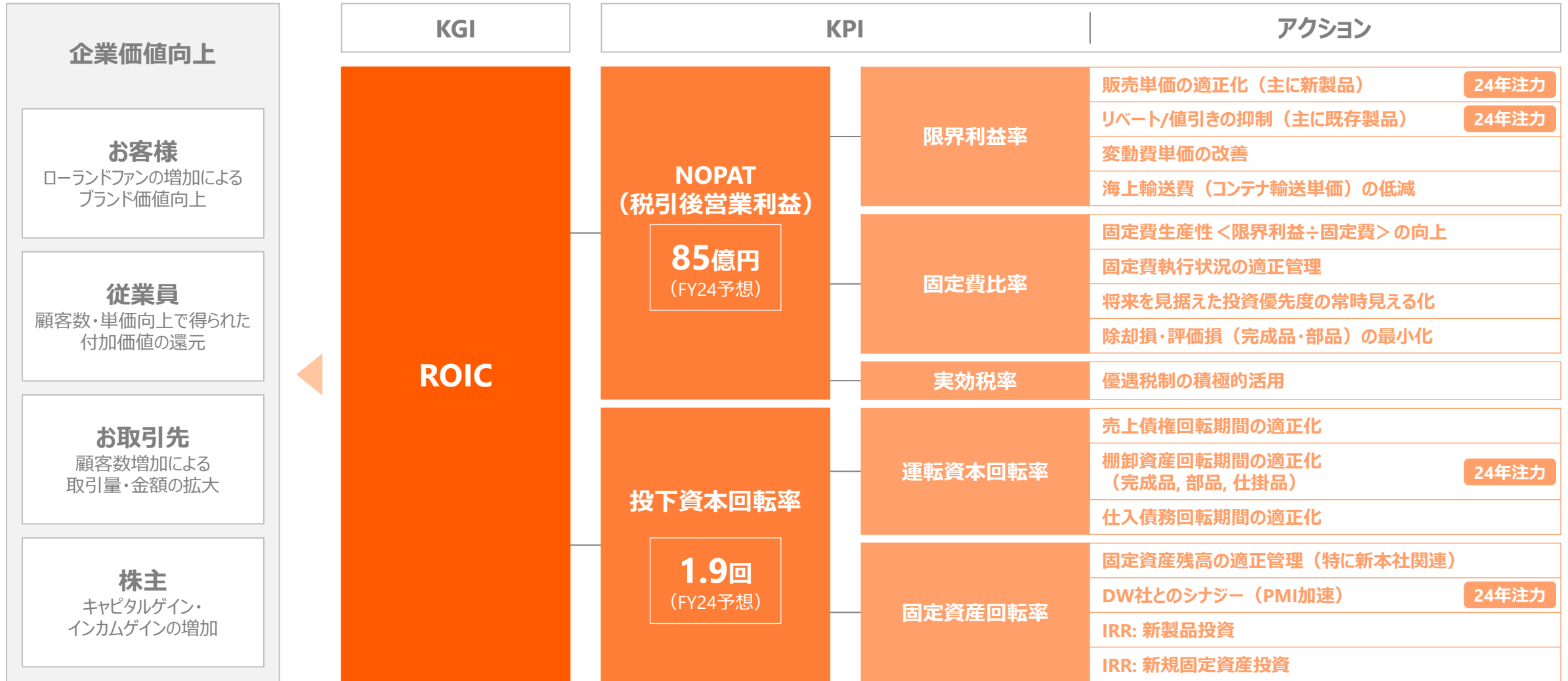
ROICの推移



ROIC = NOPAT（税引後営業利益） ÷ 投下資本（運転資本+固定資産、期首期末平均）
WACC = 6~8%程度

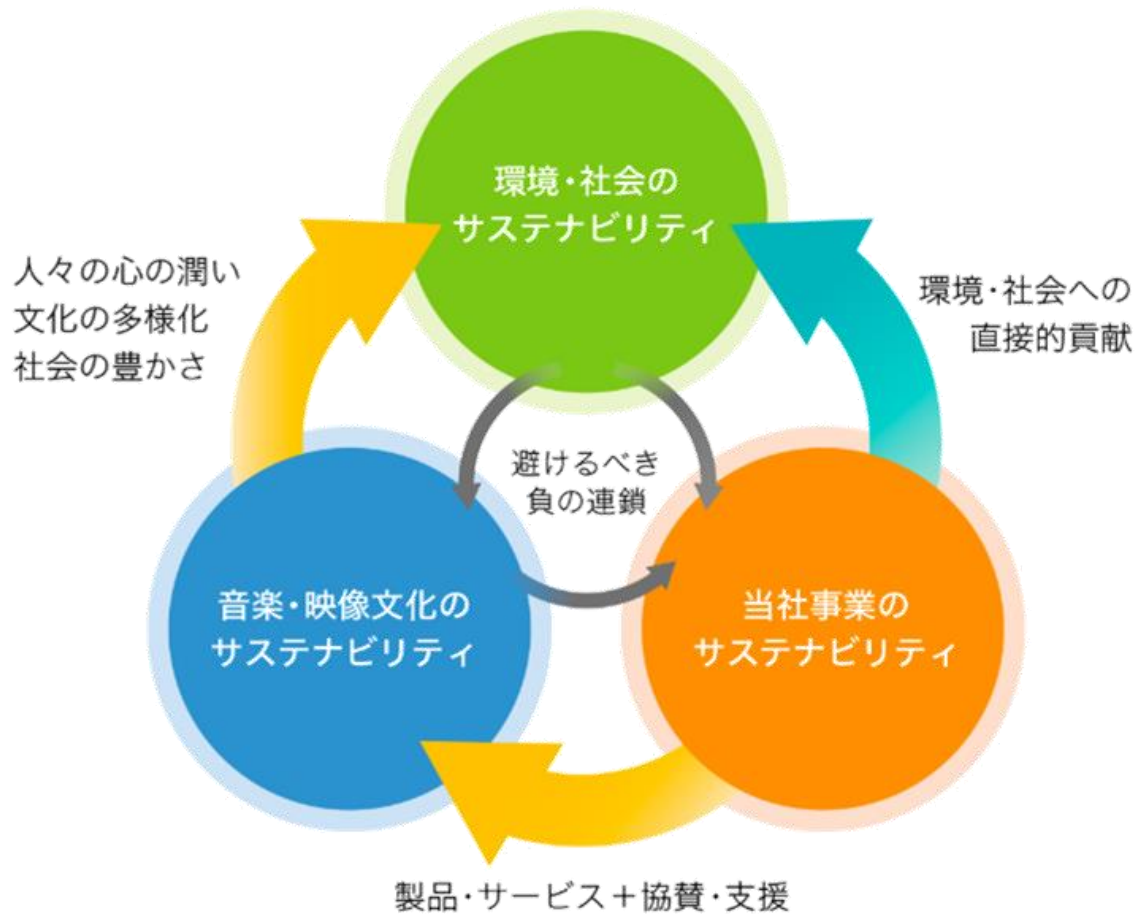
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応③ ROICツリー

- アクションごとの責任者を明確にし、着実なPDCAを実現するモニタリング体制で実行



サステナビリティへの対応①

■ サステナビリティ実現の重要性



■ 重要課題

サプライチェーン・マネジメントの高度化



成長(無形資産)への投資



音楽・映像文化の発展支援



ガバナンスのたゆみない強化



人材の活力、能力発揮の最大化



サステナビリティへの対応②

<2023年の主な取り組み事例>

サプライチェーン・マネジメントの高度化



① サプライチェーン上の人権保護

- 人権尊重へのコミットメントとして、**人権方針と調達方針を策定** (当社ホームページにて日本語、英語、中国語版を開示)
- 一次サプライヤーに対し**人権デューデリジェンスを実施**

② サプライチェーンの効率改善

- コンテナ積載率を対前年比で**約5pt改善**



輸送効率向上による収益貢献だけでなく、
売上当たりのCO2排出量も削減

③ CO2排出量の状況把握と削減策の検討

- 全事業活動によるCO2排出量調査の精度向上 (**スコープ1~3**)
- CO2排出量低減に向けて要因分析を開始
- 浜松の全事業所に加え、マレーシアと中国の自社工場でもCO2フリー電力活用を本格化

サステナビリティへの対応③

<2023年の主な取り組み事例>

音楽・映像文化の発展支援



音楽・映像および近接領域での社会貢献

- 新興地域の学校への寄付や民族楽器演奏者への支援
(中計期間の目標である**毎年10件以上を達成**)
- 障がい者のための国際音楽音楽コンクール「ゴールドコンサート」への協賛
- メンバーの多くが視覚障がいを持つ合唱団「東京子どもアンサンブル」に協賛

未来に向けた**音楽文化の発展と豊かな社会の実現をサポート**

ガバナンスのたゆみない強化



リスク管理・コンプライアンス体制の強化と取締役会による監督

- 新規連結子会社を含め、全社でのリスク把握と対策状況モニタリングを強化
- 社員向けコンプライアンス研修の実施
- 内部通報制度の周知徹底

各施策の実施状況は取締役会に報告し監督

主要連結財務数値(PL/指標)

(単位: 百万円)	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
売上高	63,247	64,044	80,032	95,840	102,445
売上原価	33,006	33,664	43,895	56,484	58,512
売上総利益	30,240	30,379	36,137	39,356	43,932
販売費及び一般管理費	24,971	23,264	25,043	28,605	32,060
営業利益	5,269	7,115	11,093	10,751	11,871
営業外損益	-542	-837	-990	-501	-716
経常利益	4,726	6,277	10,102	10,250	11,154
特別損益	-646	-430	136	279	-6
税金等調整前当期純利益	4,080	5,846	10,239	10,529	11,148
法人税等合計	1,488	1,538	1,650	1,575	2,955
親会社株主に帰属する当期純利益	2,629	4,301	8,586	8,938	8,151
EBITDA	6,811	8,633	12,706	12,826	14,628
D/Eレシオ	0.6x	0.5x	0.2x	0.8x	0.6x
自己資本比率	41%	43%	54%	43%	49%
Debt / EBITDA	1.6x	1.1x	0.6x	2.1x	1.6x
ROE	14.4%	22.7%	35.6%	28.9%	22.2%
ROIC	16.6%	22.1%	30.7%	18.7%	17.2%

主要連結財務数値(BS)

(単位: 百万円)	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
現金及び預金	8,815	10,832	8,781	10,506	12,883
受取手形及び売掛金	8,913	5,930	7,444	12,905	13,805
棚卸資産合計	14,215	18,075	25,240	32,322	30,144
その他流動資産	1,120	1,220	1,156	2,167	1,826
流動資産合計	33,064	36,058	42,623	57,902	58,659
有形固定資産合計	5,784	5,761	5,857	7,770	9,961
のれん	27	22	20	3,266	3,129
その他固定資産	4,656	4,254	4,305	8,117	9,218
固定資産合計	10,468	10,038	10,183	19,154	22,309
資産合計	43,532	46,096	52,807	77,056	80,969
支払手形及び買掛金	4,130	5,228	6,391	5,606	6,266
短期借入金	3,118	138	-	17,700	4,300
1年内返済予定の長期借入金	1,000	3,935	1,252	1,252	8,526
その他流動負債	6,458	7,678	8,389	7,954	8,948
長期借入金	7,111	5,762	5,822	7,570	10,056
その他固定負債	3,486	3,203	2,295	3,226	2,756
負債合計	25,305	25,945	24,150	43,309	40,854
純資産合計	18,227	20,151	28,656	33,747	40,114
負債純資産合計	43,532	46,096	52,807	77,056	80,969

主要連結財務数値(CF)

(単位: 百万円)	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
税金等調整前当期純利益	4,080	5,846	10,239	10,529	11,148
減価償却費	1,537	1,568	1,608	1,981	2,397
のれん償却額	4	4	4	94	358
売上債権の増減額	-846	2,172	-347	-4,301	-46
棚卸資産の増減額	-1,239	-4,288	-5,427	-1,105	4,677
仕入債務の増減額	248	1,478	-106	-4,143	-849
法人税等の支払額	-1,044	-1,816	-2,516	-2,367	-2,815
その他	2,252	1,936	1,475	106	557
営業キャッシュ・フロー	4,992	6,902	4,929	793	15,428
有形固定資産の取得による支出	-1,036	-1,012	-1,208	-1,272	-3,084
有形固定資産の売却による収入	45	149	557	49	18
無形固定資産の取得による支出	-576	-152	-98	-108	-402
その他	-20	113	-54	-10,020	-109
投資キャッシュ・フロー	-1,588	-901	-803	-11,351	-3,576
フリー・キャッシュ・フロー ¹	3,403	6,000	4,125	-10,558	11,852
短期借入金の純増減額	1,057	-2,949	-143	17,686	-13,404
長期借入れによる収入	-	6,200	1,500	3,000	12,100
長期借入金の返済による支出	-1,012	-4,614	-4,123	-1,252	-2,339
配当金の支払額	-1,902	-2,275	-2,922	-4,082	-4,506
その他	-1,288	-30	-381	-2,472	-517
財務キャッシュ・フロー	-3,146	-3,669	-6,071	12,879	-8,668

¹ フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

主要連結財務数値(製品/地域別売上高)

(単位: 百万円)	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
鍵盤楽器	17,104	17,842	24,792	29,869	27,546
管打楽器	14,205	14,620	19,053	23,046	29,342
ギター関連機器	16,744	16,712	19,093	23,540	25,726
クリエイション関連機器 & サービス	8,267	8,010	10,122	12,206	12,662
映像音響機器	4,289	4,597	4,282	4,357	4,073
その他	2,634	2,261	2,689	2,819	3,094
合計	63,247	64,044	80,032	95,840	102,445

(単位: 百万円)	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
日本	9,237	9,066	9,666	9,736	9,693
北米	18,914	19,963	25,959	34,904	38,920
欧州	19,518	21,027	24,958	26,439	29,663
中国	7,194	6,304	8,673	9,641	8,796
その他	8,381	7,682	10,775	15,118	15,372
合計	63,247	64,044	80,032	95,840	102,445

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。